

【岐阜県第4次教育振興基本計画】
自立力・共生力・創造力
 【各務原市の方針と重点】
誇り・やさしさ・活力のある児童生徒
 ～一人一人が学ぶ喜びを実感～
 ◇たくましく生き抜く力の育成
 ◇安心して学べる教育環境の提供

【学校の教育目標】
**自ら学び
 たくましく生きる
 心豊かな生徒の育成**

【学校課題】
 ・落ち着いた生活態度で、学習や諸活動に前向きに取り組む生徒が多いが間違いや失敗を恐れて困難に立ち向かう姿勢や自ら課題を解決しようとする姿勢に課題がある。
 ・保護者や地域は概ね安定しており、学校に対して協力的であるが、価値観や生活環境の変化から、支援等が必要な家庭もある。

《自ら学ぶ生徒》自立
 自ら願いをもち、その実現に向けて、粘り強く取り組み、よりよい生き方を見つけることができる生徒

《たくましく生きる生徒》創造
 仲間との関わりを通して、お互いの思いや立場を理解し、仲間と協働して生活を創り出すことができる生徒

《心豊かな生徒》共生
 仲間と共に活動する中で互いの立場を尊重し、自他のよさを認め合い、支え合うことができる生徒

今年度めざす生徒の姿
自己決定 仲間とともに 自分が・自分から行動 ～当事者意識～
 めざす学校像
地域と共にある学校 ～地域への誇りと愛着～

【経営の重点】～指導の焦点化

「学びを高める」 見通しを示し願いをもって取り組ませる指導、学習の振り返りを確実にに行い調整する力をつける指導	「仲間と創る」 願い、意義や意味づけ、価値づけを大切にした指導、課題解決に向けて生徒が創造的に活動する指導	「地域・社会とつながる」 家庭や地域と連携した鷺沼のポテンシャルを生かした指導、体験活動からの学びを丁寧に見取る指導
---	---	--

【経営の具体】～目的の明確化

□生徒主体の授業 ・目標と見通しを示し、学習に対する思いや願いをもたせる工夫 ・願いの具現に向けて、内容や方法をよりよく選択させる指導 ・考えを深めたり広げたりする指導の工夫 ・学習の振り返りの確実な実施と、次や他の学習や生活に活かす働きかけ ・ICTの効果的な活用 ・自分で考えて取り組む家庭学習 □健康な体と心づくりの推進 ・基本的な生活リズムの定着 ・継続した情報モラル教育	□創造的な学級・生徒会活動 ・願いをもたせて、意義や意味を教えたり気づかせたりする継続的な指導 ・生徒の思いや関わりを大切にした学級づくり・生徒会活動 ・課題に気づかせ、解決に向けた創造的な活動の推進 □人権感覚の高揚 いじめ防止 ・鷺沼中人権宣言の活用 ・よさ見つけでの丁寧な価値づけ □教育相談の充実 ・生活アンケートによる実態把握と丁寧な対応 ・不登校や集団不適応生徒への組織的な対応と関係機関との連携	□キャリア教育の充実 ・3年間を見通したキャリア形成に必要な能力を育成する指導 ・外部講師による講話、職場体験学習など、体験活動を充実させ、生徒の気づきや学びを深める指導 □ボランティア活動の充実 ・ボランティアリーダーを中心とした啓発活動 ・ふれコミ隊、高齢者宅訪問等地域に貢献する活動 □学校運営協議会との連携 ・「あいさつの日」を始めとする取組 ・校区3小学校との連携
---	--	--

【経営の見通し】～年間5クール制～

第1C「そろえる」 ※基本的な生活習慣定着 <個><学級>	第2C「固める」 ※各学年の宿泊行事 <学年>	第3C「高める」 ※体育祭への取組 <全校>	第4C「広げる」 ※学習の取組、合唱取組 <学級><学年>	第5C「つなげる」 ※財産交流会、卒業式 <個><全校>
--	--------------------------------------	-------------------------------------	--	---

【教職員の構え】 **「丁寧に、誠実に、温かく」** ～すべては、未来を生きる子どもたちのために～
 ☆ 健康で笑顔で明るく子どもたちの前に立つ教職員
 ☆ 社会の激しい変化に対応し、学び・改善し続ける教職員
 ☆ 教育公務員としての自覚と責任感ある教職員
 ☆ 自ら働き方を工夫し、具体的に改善できる教職員

教職員自身が願いをもち、当事者意識をもって取り組む。